



♪海辺の漂流物でアート展

講師 河津 望（絵本作家・国頭村奥在住）／倉持 有希（環境省 アクティブレンジャー）

平成22年8月11日(水) 8月20日(金)

ウフギー自然館では夏休みのイベント、海辺の漂流物でアート展が8月11日、20日の2日間行われ、国頭村、大宜味村の子供達12名が親子で参加。海岸に打ち上げられたゴミやサンゴなどの漂着物で「自分だけのやんばる」をテーマにクラフト作りを楽しみました。

1日目は全員で辺土名の海岸に行き、材料を集めながらゴミ拾い。2日目は拾い集めた材料で作品作りです。作業は、ダンボールに流木で額を作り、その中に拾ってきたサンゴやプラスチックゴミ等をホットボンドで一個ずつ貼り付けて絵を作り上げていくのです。ホットボンドではりつけていく作業はなかなか大変でしたが、スタッフや一緒に来たお母さん達に手伝ってもらいながら、「自分だけのやんばる」を思い思いに作っていました。参加した子供たちは出来上がった作品に大満足。中には、森の中で遊ぶヤンバルクイナの親子が見事に描かれたすばらしい作品もありました。

1日目

海岸で



2日目

作品作り



最後に完成した作品
を手に記念撮影



アート完成！自分だけのやんばる



♪参加者の声から

- ・海の中のようすを作りました。エビの足をくふうした。
- ・森の中を作った。一番がんばったところはアカヒゲをくっつけるところでした。
- ・ヤンバルクイナを作りました。ヤンバルクイナの毛を作るのに苦労しました。
- ・10個作りました。カメとクラゲ作る場所大変でした。 (^o^) おつかれさまでした。